

平成 2 1 年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No. 1）

平成 2 1 年 6 月 1 5 日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

6月8～11日に行った定点巡回調査の結果、置き苗におけるいもち病の発生が、ごく一部のほ場で認められている。これらの補植用置き苗はいもち病の発生源となるので、置き苗の処分を徹底する。

今後、曇雨天が続くことが予想されるので、天候に注意し、ほ場の見回りを行っていもち病の早期発見に努める。

2 発生状況及び感染好適条件

- (1) 6月11日現在、補植用置き苗の放置ほ場率は18.1%（平成：32.6%）であった。また、置き苗におけるいもち病の発生は、東部のごく一部のほ場で認められており、発病ほ場率は0.3%（平成：2.7%）であった（表1）。
- (2) プラストムによる葉いもちの感染好適条件又は準感染好適条件は、6月7日、10日に広域で出現しており（表2）、今後の発生に注意が必要である。

表1 定点巡回調査結果（6月上旬）

地区	置き苗放置ほ場率(%)	置き苗発病ほ場率(%)
東部	19.3	0.7
中部	25.0	0
西部	13.5	0
県平均	18.1	0.3

注) 置き苗発病ほ場率
調査ほ場全体に対して、置き苗で発病が認められたほ場の割合

表2 プラストムによる感染好適日の出現状況

日付	鳥取	岩井	青谷	智頭	倉吉	米子	下市	境	茶屋
6/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 感染好適日、準感染好適日

3 防除上注意すべき事項

- (1) 補植用置き苗は、本田へのいもち病の感染源となるので、早急に処分を徹底する。
- (2) 本田において上位葉に急性型病斑がみられる場合には、粉剤、水和剤などを散布し、その後は病勢に応じて追加防除を行う。
- (3) 山間部などのいもち病の常発地では、粒剤の育苗箱施用を行っていても十分な効果が得られない場合があるため、特にほ場の見回りを徹底し、早期発見に努める。